

Servas Japan Tohoku



支部ニュース

No. 93



1	2017年度国内会議報告 支部長 T. N	1
2	サーバストラベル体験記「マレーシア旅行レポート」 O. R	4
3	台湾の生活のご紹介 O. J	10
4	受け入れ報告 M. S	11
5	編集後記 C. N	12

TOHOKU

1 2017年度国内会議報告

2018.5.20 支部長 T. N

みなさんお元気ですか？本日は支部総会を米沢で開催しました。出席者11名（委任状6名を含む）でした。いつものことながら、友遠方より来る楽しからずやの気持ちになりました。弥彦を5時に出て、6時に新潟で会計のMさんをピックアップして米沢には9時につきました。おかげでTご夫妻からお茶とお菓子をいただき、ゆっくり昼食して会場に入りました。今回は秋田のKさんから、お店「麺処竜馬」での震災募金のご寄付があり、Tさんの特別会計に入れさせていただきました。私は国内会議での報告をします。支部総会の模様は次の支部ニュースで別に報告があります。なお来年は秋田のKさんのお店での開催を予定しています。開催予定日はお店の定休日の水曜日です。

麺処竜馬 <https://r.gnavi.co.jp/lwflhe180000/>

さて、3月の国内会議は東京のJICAで行われました。主な報告は下記のとおりです。

1. 支部会費は据え置きで年3000円ですが、本部への上納金が400円から860円になりました。
2. 7支部長の国内会議出席旅費は補助が全くなり、逆に本部役員は全額補助になりました。

3. SOLについて日本では220名余の加入会員のうち約50%が実際利用している。しかし全世界では加入国は30%であることから、電子リストを発行するになりました。
4. 組織化（NPO）の答申案において支部会計（7支部で400万円余のお金があるが）の一本化を前提として答申しました。諮問したO会長自らが答申案を否決したことから、会長不信任案が本支部T氏から緊急提案されましたが否決されました。
5. 上記5の関連で、副会長のY氏が辞任。T氏からは、今限りで本部役員を退任することが声明されました。
6. 5月19日までに不在となった副会長について、O会長からのメール議決での選出が提案され、本部からは東海北陸支部のKさんが選出されたという報告が来ています。私もTさんもこのような重要案件についてのメール議決はそもそもしていません。
7. 東北では、会員の近くの観光ルートについて外国人向け手作りガイドブックの作成を計画しています。これのテンプレートをTさんから後で提案します。

以上が支部との関係での報告です。なお支部総会では、支部として、O. Jさんのいる台湾のサーバス会員との交流会の提案がありましたことを申し添えます。みなさんのご意見も寄せてください。

2 マレーシア旅行レポート

O. R

初めに、今回の旅行は私にとって初めてのサーバス旅行でありました。沢山の方々の後押し、協力があり素晴らしい体験が出来ましたので、その感謝の想いを、旅行レポートという形でお伝えできたらと思います。

今回、3月上旬に4日半の旅行を計画し、1日目にはIpoh、2日目はPenangへ、そして3・4日目にMalaccaへ、そして最後にKuala Lumpurというプランを計画し、実行しました。このプランを立てるに当たって、マレーシアで2年間暮らし、働いていたサーバスのC. Nさんにアドバイスを頂きました。Nさんとの出会いがこの旅行の原点であったと思っています。この後、訪れた地域ごとにレポートをまとめて行きたいと思います。

【IPOH】

空港からイポーへは、長距離バスを使って大体3時間ほどかけて移動しました。車窓から眺める風景すらも、私にとってはどれも新鮮で、ここからの沢山の出会いに心を躍らせながら時間を過ごしました。バスの運転手も気さくで、降りる際には「ありがとう！」と声をかけてくださった。



イポーではK. Yさんという方にお世話になりました。YさんはNさんから紹介していただいた方で、JICAの活動でイポーの小学校で特別教育活動を行っているそうです。初めにYさんに連れて行って頂いたのは、左の写真の「トーゲアヤム」というもやしと鶏肉の料理が食べられる有名なお店でした。日本人が好むような味付けとなっており非常に美味しかったです。

昼食を済ませると、突然の雨が降り出しました。これはマレーシアではほぼ毎日あるというスコールで、毎日夕方頃に降り出し、1時間ほどでやむそうです。



イポーの町並みを見ると、至る所に壁画があり、歩くだけで楽しめるような通りが沢山あ

りました。写真を撮って楽しむ観光客も沢山いたが、このような壁画は見た目・彩りを重視するマレーシアならではの光景なのだそう。マレーシアの人々は、カラフルなものが大好きなようで、Yさんから話を伺うと、学校の教室もカラフルなようです。

イポーにある仏教寺院にも訪れました。この仏教寺院は洞窟の中にあり、日本にあるお寺とはまた違った印象を受けました。仏教徒だけでなく非常に多くの方が訪れていましたが、宗教を重視しない日本とは違った空気感がありました。色々な民族、宗教が存在する中でも、お互いに干渉せず、しかし尊重しているマレーシアに魅力を感じた瞬間でもありました。



夜になると、街には沢山の屋台が建ち並び、現地の人々は家族総出で夕食を取りに来る光景は非常に面白い光景でした。これまた美味しい夕食を、コールドビールとともに堪能した。コールドビールは暑いマレーシアでは非常にポピュラーなようで、飲んだ感想としては、日本でも是非とも大々的に売ってほしいと思うほど美味しかったです。マレーシアでは、挨拶の一環として”Sudah Makan?”「ご飯食べた？」”Sudah”「食べました」というやりとりが必ずと言って良いほど交わされます。言語にも顕著に表れたマレーシアの食文化に、驚きました。食べることは、人に幸福感を与えますので、マレーシアの人々は良い表情をしている人が多いのもその効果なのでしょう。一番上の写真は、マンゴーやドラゴンフルーツなどが乗ったかき氷の写真で、日本で食べるマンゴーは苦手な私でも美味しく食べられるほど甘かったです。



より夜も深くなると、屋台も人もどんどん増え、格安で品物を買うことが出来る夜市が開かれました。そこで私は、インドから来た文化である「ヘナ」というペイントに挑戦しました。これはおしゃれの一環であり、非常に有名なんだそう。たったの4RM(約108円)で、クオリティーの高いペイントを施してもらいました。



ヘナのペイントは1週間でとれるということでしたが、私の手からはなかなか消えてくれず、帰国後に少し恥ずかしい思いはしましたが、マレーシアに来たら是非体験すべき文化だと思いました。思う存分楽しんだ後は、明日からの楽しい旅行にまた思いを馳せながらYさんのお宅にお邪魔し、朝を迎えました。

Yさん、本当にお世話になりました！

【PENANG】

2日目は、アマンジャヤバスターミナルから Penang へ向かいました。



バスの中では、イポーに住んでいるという人と出会いました。バスの隣の席の知らない人と当たり前のようにコミュニケーションをとるなんて、なんて素晴らしい文化なのだろうと思いました。日本というか、仙台市での都市的生活様式になれてしまっている私にとって、公共交通機関を利用する際には隣の知らない人と話す機会は滅多になく、そんな儀礼的無関心は好きではないので、この関わり方に非常に魅力を感じました。

彼は、まるでバスガイドのように車窓から見る事が出来る風景の説明をしてくれて、ただの移動時間が非常に楽しく有意義なものになりました。



左上の写真は屋台で食べたものですが、なんと日本円で約120円。非常に美味しく、ボリュームもあって大満足でした。そして、Penangの海沿いの町並みはこれまた素晴らしく、観光客が非常に多かったです。フェリーに乗ったり、モスクを見学したりしましたが、モスクでは説明を聞きながら案内していただいたので、イスラム教の知識が少しではあるが身についたので、大変有意義だったと思います。

それからその日は、サーバスの会員であるJとその友達と会う約束をしていたので、待ち合わせ場所のTESCO Mallへ向かい、合流し、車で屋台へと向かいました。



屋台では、色々な料理がありましたが、焼き鳥の様な物を、付属のソースにつけて食べました。日本で食べる様な焼き鳥とはまた違った味がしましたが、大変美味しく、そのほかの料理も全て美味しかったです。飲み物には、その Penang では有名だという、ビーンズを潰してミルクと混ぜて作られたジュースを飲みましたが、なんだか不思議な味でした。

夕食をとった後にまた車を走らせて向かった先は、**Kek Lok Si Temple**。チャイニーズニューイヤー期間中のみのライトアップが開催されていて、これは1年に一回しかない特別なイベントで、見る事が出来るのは大変ラッキーだったとのことでした。寺院がこのようなイルミネーションになっている光景も珍しかったが、ここは山の上にあるので、Penang の街を見下ろすことができました。右の写真が、左から私、J、Jの友人です。



2人と過ごした時間は大変自分にとって実りある時間で、しかしながら自分の伝えたいことが上手く伝えられないもどかしさ、その中での通じ合えた喜び、沢山の感情と向き合った数時間でした。2人は大変親切にしてくださって、2人から沢山の Penang のことを学びました。日本にも何度か訪れたことがあると言っていたのは大変嬉しく、もっともっと自分自身日本の事を学び直して発信出来るようになりたいとも思いました。

【MALACCA】



3日目、宿泊したジョージタウンのゲストハウスを早朝に出発し、ペナン国際空港で向かいました。その途中にあった蛇寺に寄り、その周辺にあった屋台で朝食をとりました。この左の写真の料理、なんと RM2.5(約 67 円)。量も十分なくらいで味も文句なしの美味しさで、そのお店の人とも仲良くなりました。このお皿の左側に乗っているのはキュウリで、日本のキュウリとの大きさの違いには大変驚きましたが、味はふつうのキュウリでした。



蛇寺では、中に何匹か蛇がいて触れることが出来ました。肩にかけてあげるよと言われましたが、流石にそれは断念しました。

午前中から何人かの観光客がいて多くの方が蛇と触れあって楽しんでいました。



Penang から飛行機で KL へ来て、KL からまたバスで移動して Malacca に到着しました。ここでは、サーバス会員の K ご夫妻とお会いし、有名なインドカレー店のカレーを食べました。マンゴーラッシーも、カレーもナンもチキンも全て美味しくいただきました。夕食後は、Malacca の海辺へ連れて行ってもらい、沢山お話をし、まるで自分の両親のような感覚でした。お二人はとても優しく話しやすく、1 日だけですがとても濃い時間を過ごしました。その日はお宅に泊めていただき、夜にはマンゴーを剥いてもらって食べました。旦那さんは、ゴルフが趣味なようで、私の父もゴルフ好きなので、いつかまた Malacca に来るときにはお父さんも連れてきて、一緒にゴルフをしようと言ってくださいました。いつかまたお会い出来るのが今から楽しみです。

4 日目は、Malacca のもう一人のサーバス会員である C に会いました。Malacca の色々なところを案内してくれて、特に観光客はほとんど訪れないという昔ながらのマレー系文化が残る地域を見せてもらいました。Malacca の中心部の光景とは全く違った景色が広がり、とても興味深かったです。

さらにその日は雨が一日中降っていたため、なかなか訪れたいと

ころに行くことが出来ず、ビリヤードをして楽しみました。私は初めてのビリヤードで、C にルールを教えてもらいながら挑戦しました。

数時間でしたが、C には沢山の事を教えてもらって大変勉強になりました。



【KL】

KL では、こちらもサーバス会員の T と会って食事をしました。写真は取り損ねてしまいましたが、お米とソースや野菜などを混ぜて作られた料理を食べましたが、初めて手を使って食事をしました。親指以外の指にご飯をのせて親指で押し込むようにして食べるようですが、想像していたよりも非常に難しく食べるのに時間がかかってしまいました。夕食の後には、

ペトロナスツインタワーが綺麗に見える KLCC 公園へ連れて行ってもらい、さらに、タワーが望める有名なスカイバーへ行きました。ここは、多くの観光客と思われる人が多く、各々楽しんでいるようでした。自分がその日までみて来たマレーシアとは全く異なる景観、雰囲気にも食らいながらも、素敵なひとときを過ごし、また違ったマレーシアの良さを知ることが出来た気がしました。

さらに、ブキッピンタン通りなども散策し、夜市なども見て回りました。色々な人がいて、多様性にあふれていて、日本とは全く違って非常に刺激のかつ魅力的でした。

Tは日本にも詳しく色々な国に訪れたことがあり、非常に見聞が広い方で、マレーシアのこのあたりは日本でいう新宿の様などころだよ〜など沢山の事をわかりやすく教えてください、楽しく有意義な時間となりました。



最終日には、空港へ行く前に通り道なのでプトラジャヤに寄り、ピンクモスクを見て帰りました。ここも多くの観光客が訪れていて、観光バスで溢れかえっていました。天気も非常に良く、マレーシアでの素晴らしい4日間を名残惜しく思いながら空港へ向かいました。

マレーシアでの旅行は、自分のこれまでの人生で築き上げてきた価値観が大きく良い意味で崩れたように感じています。一度しかない人生を、何を幸せと感じて生きるのか、それは国民性に依存し大きく異なるが、自分の思っている普通・常識を非常識に変えていくことも必要なのではないかと思います。

今回の旅行は、自分にとって大きな挑戦であり夢でした。旅を安全で楽しく充実したものに出来たのは、間違いなくサーバスの方々や、その他協力して下さった方々のおかげであると思っております。

ありがとうございました。

3 台湾の生活のご紹介

O. J

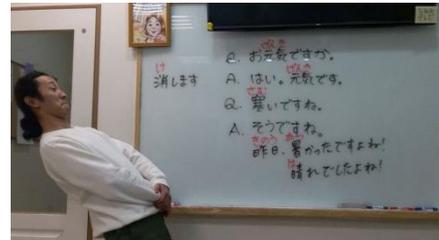


サーバス会員の皆様、こんにちは。東北支部のO. Jと申します。2017年2月より台湾に引っ越し、現在は台湾の宜蘭市という街で日本語教師をしています。2018年5月で約一年3ヶ月となりますが、私自身も中国語学習者として日々勉強に、仕事に、そして遊びにと頑張っております。

私の住む宜蘭市は沖縄と同じく亜熱帯地方になり、フルーツが豊富に実り、まさに東南アジアを感じる地域の一つです。また台湾の方々是非常に社交的で、海外の文化に対して興味をお持ちの人が



多いように日々感じております。そのような要因もあり、英語を話せる方が非常に多いです。欧米文化のみならず、



さらには歴史的背景も相まって日本に興味をお持ちの方もたくさんいらっしゃいます。日本に興味をお持ちで「日本語を話したい!」「日本に行きたい!」そんな生徒さんに日々日本語教えています。私自身、台湾



の方へ日本語を教えることで今一度自分の母国語がどのような仕組みなのか、またどのような文化背景があるのか、日々再発見しています。教壇に立ち、教



えているようで、実は一番勉強させてもらっているのは私の方かもしれません。日本から近くて、日本と歴史的にとってもつながりの深い台湾。サーバス会員の皆さんもぜひ、お越し下さい。お読みいただきありがとうございました。



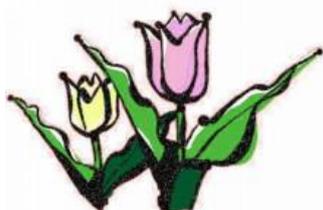
4 受け入れ報告

M. S

オランダ 4/22-4/24 T.V 25才 F. J.F 27才 M.

爽やかな若いカップルを受け入れました。最近私は体調がすぐれずここ数年、外国に出て行くことを諦めていました。ですから英語でコミュニケーションができるサーバス・トラベラーの受け入れがとても楽しみでした。

オランダ人の T と J はアジアの国々に大変興味があり既にタイ、韓国、マレーシア、インドネシア、ラオスなどを旅しています。Juda はこの旅のために仕事を辞めて来たそうです。ふたりは若いのに日本とオランダの文化交流の歴史を良く知っていて話が弾みました。異文化体験が好きな彼らの好奇心は旺盛で私たちは彼らから沢山の元気をもらえて楽しい3日間でした。これからも若い人と時代を超えて通じ合うものを見つけられたらと願っています。



て話が弾みました。異文化体験が好きな彼らの好奇心は旺盛で私たちは彼らから沢山の元気をもらえて楽しい3日間でした。これからも若い人と時代を超えて通じ合うものを見つけられたらと願っています。

最近では珍しくなっているヒッチハイクをして東京から仙台の我が家に来ました。通常のトラベラーであつたら、まず私が最寄りの駅に迎えに行くことになっているので、この日も電話を待っていました。ところが夕方、玄関のチャイムが鳴って T と J が笑顔で私たちの前に立っているのですから本当に驚きました。

スマホを使いこなしている彼らは駅から徒歩で1時間全く迷うことなく我が家に着いたようで、スマホを使わない私には彼らの行動に感動してしまいました。今回の受け入れで、サーバス・トラベラーの間に「スマホ時代」が来たことを実感しました。

日本語の勉強はしていないのに、スマホから旅の目的地の漢字を見つけ出し「手書きカード」を作っていました。ここ10年間ほど、夫の会社にはパキスタン人、ロシア人、ガーナ人、中国人等の外国人が働いています。ふたりは日本で働く外国人労働者に会ってみたいと翌朝、夫と共に出かけに行きました。そこで2時間ほどの楽しい交流をしてから夫は彼らを松島海岸まで送って行きました。ここでもスマホが彼らに情報をくれて迷うことなく松島観光を満喫し、前日と同じく駅から1時間歩いて夕食までに戻ってきました。本当に手のかからないトラベラーでした。



翌朝、出勤する夫に近くの仙台・野村インターまで送ってもらい、安比高原に向けて出発して行きました。ここからもヒッチハイクで行くのでしょうか。手には「安比」と書かれ

た手作りのカードをしっかりと持っていました。安比高原では知人の経営するホテルで 5 週間泊めてもらい、ホテルの仕事を手伝い、代わりとして宿泊料金は無料にしてもらえる約束が出来ているそうです。今回は若いトラベラーならではの旅の一つの形を見させてもらいました。安比高原のホテルで宿泊客のために多めに活躍していることでしょう。

5 編集後記

支部ニュース編集担当 C. N

今回は、トラベラーとして O. R さんからマレーシアの様子を、また海外在住の O. J さんから台湾の様子を紹介していただきました。実際に旅してみても、住んでみて見えてくるものを共有していただくととてもわくわくさせてもらえましたね。今年中にもう一度発行できればと思っているので、是非みなさんのサーバス体験をおよせください。

私ごとになりますが、5 月に長女を出産しました。現在四カ月になった娘は毎日新しい顔を見せてくれ、できることも増えています。娘はすでにサーバス・トラベラーとお散歩したり笛を吹いてもらったりしています。今後も家族ぐるみで楽しいサーバス体験ができることを期待しています。

最後に宣伝です。以前にも紹介させていただきましたが、毎月ムスリムとの交流を深めるためにハラル料理パーティーをしています。9月30日(日)と10月20日(土)に以下の内容で実施しますのでご都合がつけば是非参加して下さい。ちなみに先日宮城県のニュースに取り上げてもらいました。今後とも楽しい国際交流ができるようにがんばります！毎月実施していますので、これ以降の情報は facebook で「Tigmi」と検索してください。それではまた次号にお会いしましょう！

BIGHALAL PARTY !

場所：宮城県仙台市若林区東七番丁 1-15 HOSTEL KIKO

時間：15 時料理開始、17 時食事開始、18:30 解散

参加費：1500 円

持ち物：飲み物、エプロン、カップ、取り皿、スプーンや箸など

9 月の料理はモロッコ料理とエジプト料理を楽しみながらムスリムのあいさつについて学びます。